

季節風



豊橋山岳会

季節風

クモが

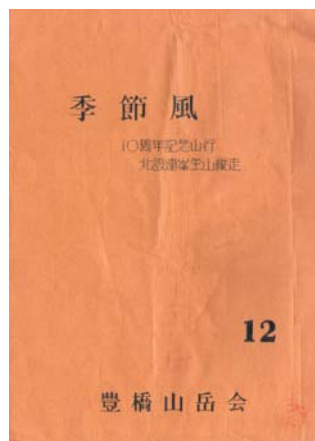
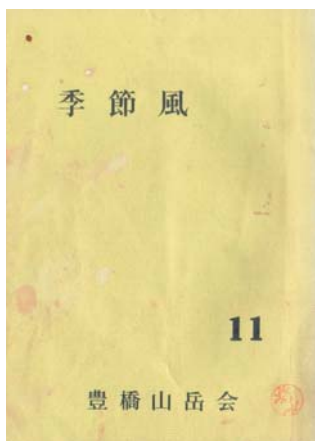
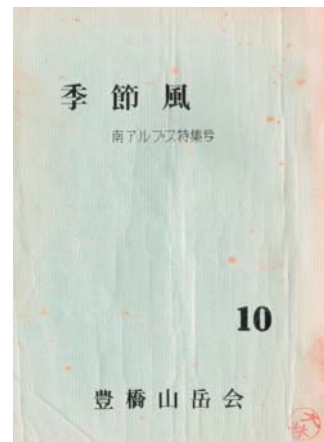
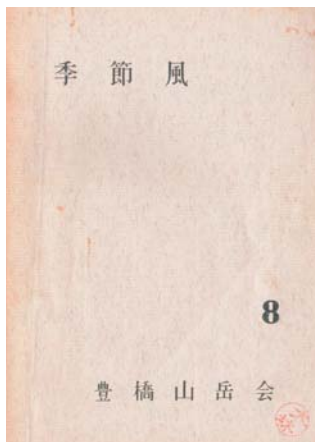
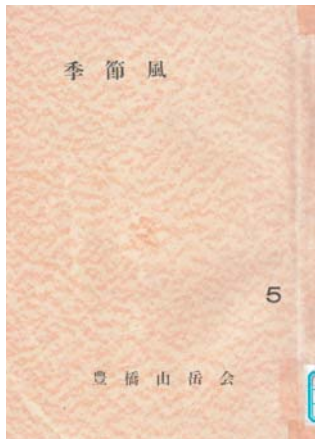
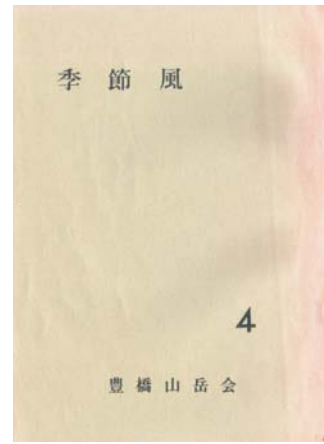
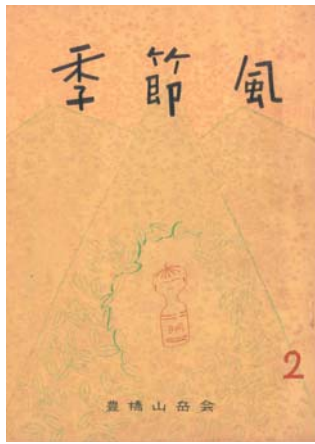
銀の糸を風に浮かせて
空を移動してゆく

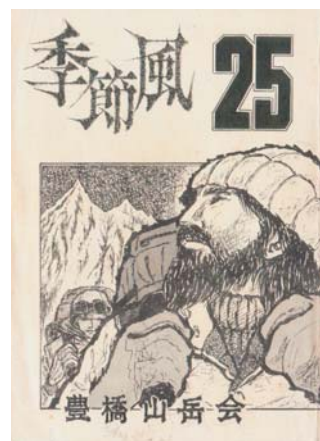
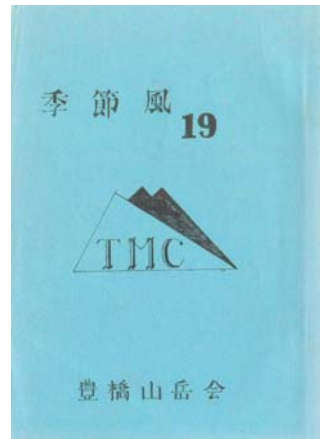
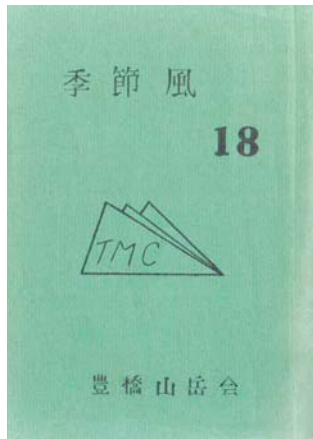
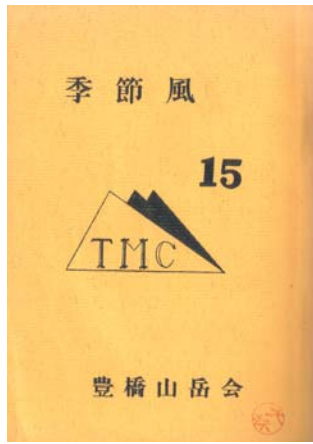
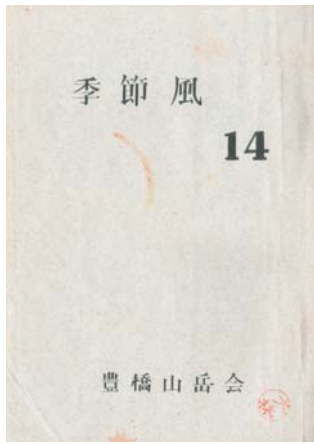
芭蕉が

片雲の風にさそわれて
漂泊の旅をつづける

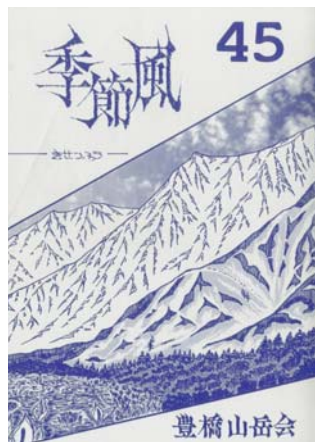
岳童は

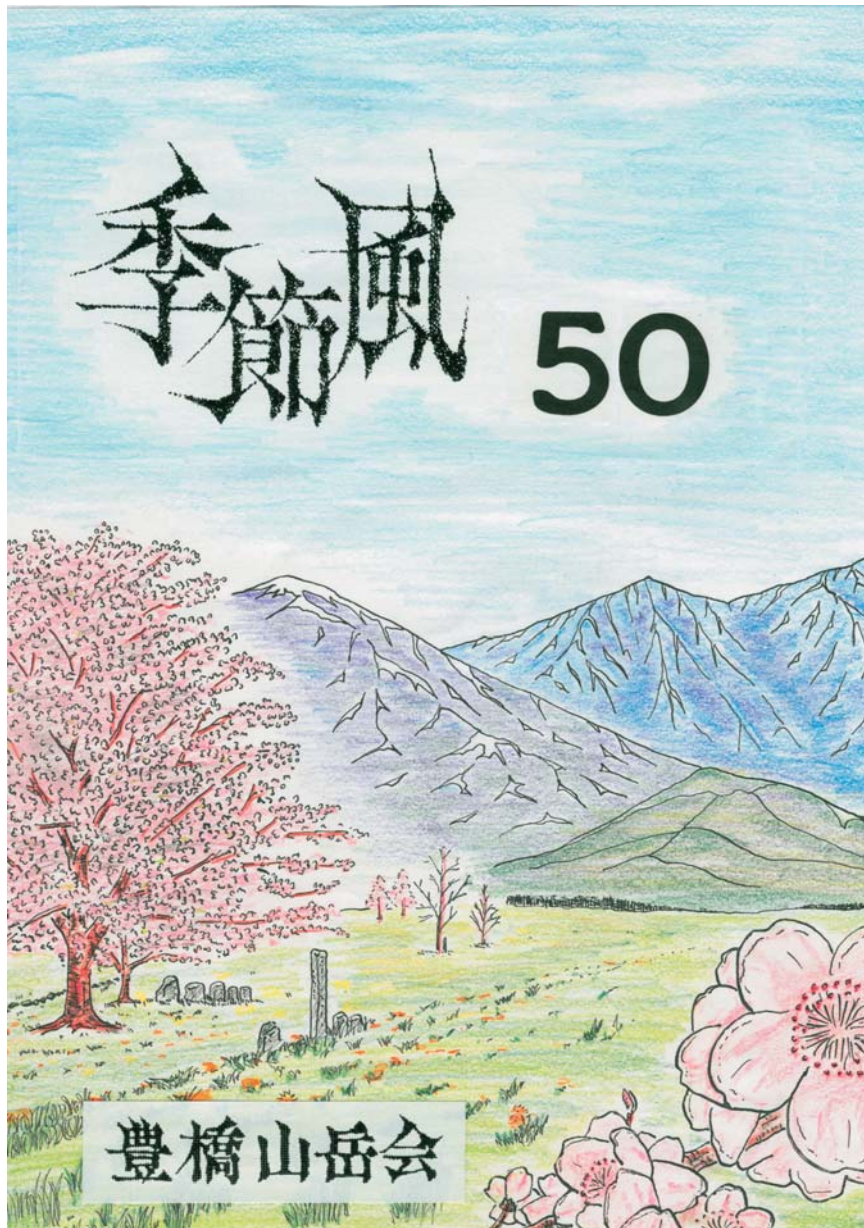
季節の風にのって
山へと帰る











「季節風」創刊号にある詩は、野口志行氏の作です。
季節ごと常に定まった方向から風が吹くという季節風。
この「季節風」というタイトルの意味を氏にお尋ねしたところ、
この詩がすべてを語っていると知らされました。
創刊号から今日まで一度も途絶することなく「季節風」も50号を迎えます。